令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立八幡台小学校

作成日

令和7年3月7日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成

○心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子
○豊かな心を持ち、思いやりのある子
○正しい判断のもと自ら進んで実践する子

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○ICT機器活用率の向上 ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○早起き(午前7時)実施率90%以上	○地域との交流事業3回 ○ホームページ随時更新 ○中学校との交流を行う
重点目標に対する	○進んで学ぼうとする姿勢は大切である。 ○基礎基本はしっかり定着できるよう、反復練習も大切である。 ○学校と家庭の役割分担が必要である。	○いじめを許さず、人の気持ちを理解する子どもになってほしい。 ○大人が子どもをしっかりとつける必要がある。 ○体験学習を積極的に行ってもらいたい。	○家庭との連携が大切になる。 ○学校でしっかりと運動させてもらいたい。 ○家庭での生活リズムの確立が大切。	○HPでの発信は大切である。 ○中学校との連携交流があってもよい。
取組状況に対する	○自分から進んで学ぼうとしている子どもが増えてきたように感じる。 ○家庭学習が十分にできているか。 ○ICT授業の資質向上も検討してほしい。	○道徳の学習がしっかりできているのではないか。 ○優しい子どもに育っていると感じる。 ○挨拶もしっかりできる子どもが多い。 ○子どもに寄り添う学校であってほしい。	○家庭との協力関係を大切に、子どものよりよい生活習慣を確立できるようにしてほしい。 ○ゲームやスマホとの付き合い方については、学校でも家庭でもしっかり考えていく必要がある。	○HPやお便りで学校の様子がわかり、ありがたい。 ○小中学校の連携交流が必要であるという気持ちを大切に持ち続けてほしい。
対する適切な意の検証結果に	○学校と家庭、両面での連携した取り組みが必要である。 ○家庭学習が習慣化されていないと子どもの学力は向上しないので、家庭との連携が大切である。 ○子どもの学力に不安を感じる。	○学校では先生方が範を示し、子どもたちの情緒面を育ててもらいたい。 ○子ども同士の良い関わりには、保護者間のコミュニケーションが円滑であることも大切。	○学校では、生活習慣確立に向けた学習をしっかり続けてもらいたい。また、各家庭への協力依頼を積極的に行い、連携しながら子どもを育ててほしい。 ○ネットリテラシーの学習に注力してほしい。	○地域の人間が訪問しやすい学校であってほしい。 ○できる範囲で、これからもしっかり協力していきたいと思う。
改善年度法に	○子どもが自ら学ぼうとする気持ちをしっかりと育ててもらいたい。 ○中学校、高校へと進んでいくことを踏まえた教育を行ってもらいたい。 ○家庭との連携を大切に、ICT活用を進めてほしい。	○誰に対しても優しい気持ちを持って、みんなで子どもたちを大切に育ててもらいたい。 ○いじめにつながっていくようなことも考えられるので、子どもたちの人間関係についてきめ細かく見てほしい。	○家庭との連携をしっかりとやってもらい、基本的な生活習慣を確立させてもらいたい。 ○体育の時間や休憩時間など、学校の運動できる機会を大切にほしい。	○地域から見て、これまで以上に開放的な学校にしてもらいたい。 ○学校から、もっと地域へ支援を依頼するとよい。 ○自治会と連携し、通学路の安全対策も進めてもらいたい。

3 その他のご意見

○学校教育と家庭教育にある程度の線引きが必要。学校に押し付けるばかりではいけない。役割分担が必要。
○自転車の乗り方が気になる。交通ルールを順守するよう、学校、家庭で強く指導すべきである。
○各種支援活動を学校から地域に要請してもらいたい。地域には学校を支援したいと考える人材が一定数いる。
○学校内外で、多様な活動を行ってほしい。
○挨拶の大切さを、大人も子どもも今一度考えてもらいたいと強く思う。
○保護者間のコミュニケーションがスムーズであれば、児童間のトラブル解決も容易になると感じるが...